

6. 学術情報センター

学術情報センター長 兼平 千裕 (放射線医学) (平成19年4月より)
同 図書館国領分館長 茅島 江子 (母性看護学) (平成22年4月より)

1) 平成24年度統計(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	255,813冊
② 現在受入雑誌数	927種(和755種、洋172種)
③ 電子ジャーナル提供数	6,737種
④ 館外貸出冊数	12,919冊
⑤ 他学との文献相互貸借数	貸出3,722件 借受3,280件
⑥ 複写サービス	578,656枚
⑦ 情報検索サービス	75,966件(代行とセルフサービスの合計)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	84,168冊
② 現在受入雑誌数	384種(和333種、洋51種)
③ 館外貸出冊数	8,641冊(視聴覚資料含む)

(3) 標本館

① 標本数	マクロ標本	1,615点
	顕微鏡標本	2,549点
② 視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,825セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	64セット
	語学プログラム	205セット
	その他	79セット

(4) 史料室

見学者数170名(学内33名、学外137名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	68件(1,914枚)
② レントゲンフィルム複製	277件(1,318枚)
③ ビデオ編集	34件(177時間)
④ カラープリント出力(ポスター作成含む)	439件(2,915枚)
⑤ 35mmスライドのデジタル化	11件(570枚)

2) 主な事項

(1) 医学部学生および大学院生の演習

医学科1年生・2年生の「医学総論」、医学科3年生・4年生の「医療情報:EBMコース」、看護学科3年生の「研究方法論:文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーション、さらに大学院医学研究科看護学専攻修士課程の新入生への演習を担当した。

(2) ネットワークを介した情報提供

電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するサービス(AutoAlertサービス)を、引き続き実施している。また、新聞4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービスも継続した。

(3) 学術リポジトリの構築

学内の学術成果物を電子的に蓄積し、インターネット上に公開するためのシステムである学術リポジトリの運用を担当している。東京慈恵会医科大学雑誌、Jikeikai Medical Journal、教育・研究年報、Research Activitiesの最新の内容を登録し、インターネット経由で参照できるようにした。平成24年度の登録件数は289件で、利用状況は閲覧119,808件、ダウンロード80,861件だった。

- (4) 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2011（第31号）』および『Research Activities 2011』の編集

両年報の原稿を大学ネットワーク経由で収集し、編集・出版の作業を担当した。

- (5) 教員評価システム管理委員会への参加

教員評価システムの業績データ入力機能の管理を担当し、学内教職員を対象とした入力方法の説明会を3回実施した。

- (6) 医学論文書きかた講習会の開催

Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による以下の講習会の開催を担当した。これらの講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。

- ・「英語の苦手な人が英語論文を書くために知っておきたいこと」（5月10日）
（角田巨准教授・リハビリテーション医学講座）
- ・「Basic mistakes made by young medical writers」（5月22日）
（岡崎真雄教授・学術情報センター）
- ・「How to prepare and present your research paper v.2.0」（5月29日）
（小原平教授、Mark Alder講師・英語研究室）
- ・「もし疫学者・統計家が、医学雑誌の査読者になったら…」（5月31日）
（松島雅人准教授・臨床疫学研究室）
（開催時間は、いずれも18時～19時30分）

- (7) 教材・研究資料の作成支援

学内教職員・学生、同窓生を対象に、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。

- (8) レントゲンフィルムの複製

教育・研究用、病院保管用の資料作成、他病院・関連機関への情報提供のためのレントゲンフィルム複製の業務を担当した。

- (9) 広報活動支援業務

学内行事および広報用の写真撮影、また画像データの保管・提供を担当した。

- (10) 情報技術支援業務

学事課・システム課・教育センターの職員との協力による情報技術支援業務（テレビ会議等）を継続担当した。

教育センター、東京慈恵会からの依頼を受け、附属病院看護師のための研修（エデュケーションナース）や、学内外の看護教育関係者を対象にした講習（教務主任養成講習会）で情報検索演習を行った。

- (11) リモートアクセスサービスの開始

大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外（自宅や派遣先）からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」（平成21年度開始）の登録およびサポート作業を行った。平成24年度の新規登録は253人で、平成24年度末までに利用登録者は1,344人となった。

- (12) 「東京慈恵会医科大学130年史（平成23年度発行）」関連の業務

掲載内容に関する問い合わせへの対応、130年記念事業寄付者へ送付確認作業を担当した。